

# 監査報告書

2022年5月26日

特定非営利活動法人 愛コープ  
理事長 高取昭夫 殿

監事 佐野伸子  
監事 熊澤朋子

## 1、 監査概要

私たちは2022年5月26日 高取理事長、日本経理担当および安藤経理・保土ヶ谷事業所長立ち会いのもと、特定非営利活動法人愛コープの2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）の決算書類（貸借対照表、損益計算書、付属明細書、年度末銀行口座残高、小口現金照合）と事業報告、理事の業務執行状況、2021年度経営総括の監査、ヒアリングをおこないました。

## 2、 監査意見

### （1） 決算書類について

貸借対照表、損益計算書、付属明細書は公正妥当な方法で作成され、特定非営利活動法人愛コープの資産状況、収支の状況を正しく示しているものと認めます。

### （2） 理事の業務執行状況について

理事は法令、定款に従い総会方針に沿った業務執行がなされたことを認めます。

## 所見

- 1、保土ヶ谷事業所は、昨年11月に皆人さんからの移動で障害サービスを開始し、ヘルプ時間が大いに増えましたが、今年1月からのオミクロン株の感染力の脅威は、特に港北事業所でヘルパー活動時間を減らすこととなりました。結果、計画の活動時間数を達成できず営業利益はマイナスとなりましたが、事業高は前年との比較で117%と大幅に伸ばすことが出来ました。
- 2、5カ年計画の1年目として特定事業所加算Ⅱを取得し、大幅な処遇改善などに取り組み、若い世代の新たな職員が増えたことは今後の大きな力になると思います。
- 3、オミクロン株の感染力は強力で、利用者、職員にも感染者が出てしまいましたが、引き続き感染予防の徹底に努め、質の高い介護と人材育成に力を入れ、愛コープの発展に繋げて欲しいと思います。